

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【公表番号】特表 2010-509570 (P2010-509570A)

【公表日】平成 22 年 3 月 25 日 (2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2010-012

【出願番号】特願 2009-535333 (P2009-535333)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

G 0 1 N 15/14 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 33/536 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 D

G 0 1 N 15/14 C

G 0 1 N 33/543 5 9 7

G 0 1 N 33/536 D

G 0 1 N 21/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 28 日 (2011.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エキスビボ患者サンプル中の病原性細胞を検出する方法であって、一般式

$$A_b - X$$

(上式において、基 A_b は病原性細胞に結合するリガンドを含み、基 X は造影剤を含む) の結合体または複合体を含む組成物を、前記エキスビボ患者サンプルと混合する工程、および、フローサイトメトリーを使用して、前記リガンドに対する受容体を発現する病原性細胞を検出する工程を含む、方法。

【請求項 2】

前記病原性細胞が多光子フローサイトメトリーによって検出される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

A_b が前立腺特異的膜抗原に結合するリガンドを含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

$A_b - X$ が、少なくとも 7 原子のリンカーを有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

A_b がフォレート受容体結合リガンド、またはその類縁体もしくは誘導体を含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記エキスビボ患者サンプルが患者の体液である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載

の方法。

【請求項 7】

前記体液が、髄液、リンパ液、尿、粘液および血液からなる群から選択される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記病原性細胞が癌細胞である、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記癌細胞が転移性癌細胞である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記造影剤が発色団を含む、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記発色団が蛍光性発色団である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記発色団が、フルオレセイン、オレゴングリーン、ローダミン、フィコエリトリン、テキサスレッド、ダイライト 680 およびアレクサフルオル 488 からなる群から選択される化合物を含む、請求項 10 または 11 に記載の方法。

【請求項 13】

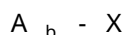
前記エキスビボ患者サンプル中の前記病原性細胞を定量する工程をさらに含む、請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

$A_b - X$ が、フォレート - フルオレセイン、フォレート - オレゴングリーン、フォレート - ローダミン、フォレート - フィコエリトリン、フォレート - システイン - テキサスレッド、フォレート - アレクサフルオル (AlexaFluor) およびフォレート - ダイライト (Dy Light) からなる群から選択される、請求項 1 または 5 に記載の方法。

【請求項 15】

病原性細胞の検出試薬であって、一般式



(上式において、基 A_b は病原性細胞に結合するリガンドを含み、基 X は造影剤を含む) の結合体または複合体を含み、

前記病原性細胞が、エキスビボ患者サンプル中で、フローサイトメトリーによって検出される、検出試薬。

【請求項 16】

前記病原性細胞が、多光子フローサイトメトリーによって定量される、請求項 15 に記載の検出試薬。

【請求項 17】

A_b が前立腺特異的膜抗原に結合するリガンドを含む、請求項 15 または 16 に記載の検出試薬。

【請求項 18】

$A_b - X$ が、少なくとも 7 原子のリンカーを有することを特徴とする、請求項 15 ～ 17 のいずれか 1 項に記載の検出試薬。

【請求項 19】

A_b がフォレート受容体結合リガンド、またはその類縁体もしくは誘導体を含む、請求項 15 または 16 に記載の検出試薬。

【請求項 20】

前記病原性細胞が癌細胞である、請求項 15 ～ 19 のいずれか 1 項に記載の検出試薬。

【請求項 21】

前記造影剤が発色団を含む、請求項 15 ～ 20 のいずれか 1 項に記載の検出試薬。

【請求項 22】

前記発色団が蛍光性発色団である、請求項 21 に記載の検出試薬。